

# Press Release

報道関係各位



## ウェットティッシュ・ペーパータオルの加工設備を新たに四国中央市に設置 ウェットティッシュ分野へ参入、衛生用品事業の拡大を図る

丸住製紙（本社：愛媛県四国中央市川之江町、代表取締役社長：星川知之）は、2021年3月に委託加工先（静岡県）へ加工機を増設する事に加え、四国中央市にウェットティッシュ加工設備・ペーパータオル加工設備を新設し、衛生用品事業の拡大を図ります。

丸住製紙はこれまで新聞用紙・出版用紙・印刷用紙・情報用紙・包装用紙を取り扱い、創業100周年を迎えた2019年より新事業として衛生用品（ペーパータオル）の販売を開始しています。今後、ウェットティッシュやペーパータオルなどの衛生用品の安定供給に向けて国内の供給体制構築を推進します。

### ■ ウェットティッシュ加工設備

世界的な新型コロナウイルス感染症拡大による、近年の衛生意識の高まりを受け、衛生用品の中でも需要が伸びている不織布衛生用品事業への本格的参入に向けて、ウェットティッシュ加工設備を設置、弊社にて製品生産を開始します。



投資額は約5億円。加工量は月間58万個（1パック60枚入り）の見込み。2021年6月の完成を予定しています。

### ■ ペーパータオル加工設備

2021年9月完成を目指し、新たに加工設備を設置します。投資額は約5億5千万円。加工量は月間600tの見込み。委託加工先の太洋紙業（本社：静岡県富士宮市、代表取締役社長：渡辺和裕）での加工量とあわせ、加工量は、約1,100tとなります。

今回の加工設備は、委託加工で製造しているレギュラーサイズ（220×230mm）より少し小さなエコノミーサイズ（220×170mm）を生産。四国中央市で原紙の製造から加工まで一貫して行うことにより、販路拡大及び製品ラインアップの拡充を図ります。

■ スケジュール

2021年6月 ウェットティッシュ加工設備（大江工場）完成予定

2021年9月 ペーパータオル加工設備（大江工場）完成予定

■ 今後の方針・見通し

既存事業が変革の時を迎えた今、衛生用品事業、中でもウェットティッシュ・ペーパータオルについては今後も需要が伸びると想定し、今後は製品ラインアップの拡大を目指しながら、お客様のご要望にお応えするとともに、衛生用品の安定供給に努めて参ります。

会社概要

- 社名：丸住製紙株式会社
- 所在地：愛媛県四国中央市川之江町 826 番地
- 設立年：1946年（創業 1919年）
- 資本金：12億円
- 売上高：595億円（2019年度）
- 従業員：671名
- 主な業務内容：新聞用紙・出版用紙・印刷用紙・情報用紙・包装用紙・衛生用紙・クラフトパルプの製造ならびに販売、バイオマス発電、太陽光発電
- URL：<https://www.marusumi.co.jp/>

メディアの方のお問い合わせ先

<広報係>

- 電話番号：0896-88-0123
- 携帯番号：080-7175-3044
- FAX：0896-57-2290
- メールアドレス：[kouhou@marusumi.co.jp](mailto:kouhou@marusumi.co.jp)
- 担当者：総務人事課広報係長／篠原雅之